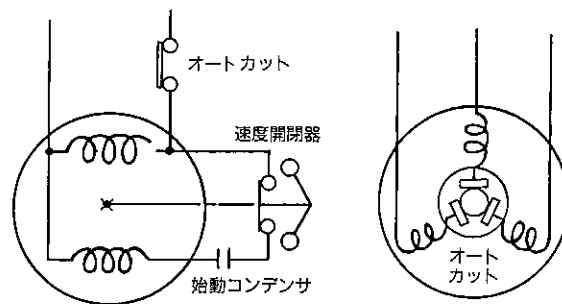


## ■ 保護装置

- モータプロテクタ (オートカット)
  - 0.25 kW ~ 11 kW じか入れ始動の場合 ——

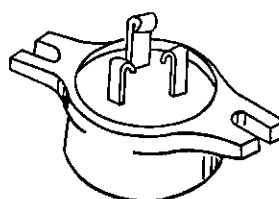
第6図 (a) に単相用の接続を第6図 (b) に三相用の接続を示します。三相用の場合は固定子巻線を星形結線 (スター結線) とし、その中性点を開路してプロテクタの3端子を各相の巻線端に接続しています。

オートカット (第7図) はバイメタル (双金属) 製の可動部で、モータ電流によるヒータの温度が一定値を超えれば、第8図に示すように反りが反転して接点が開路し、モータ停止となります。復帰はバイメタルが冷却すると自動的に復帰して接点を閉じます。復帰するまでには数分を要します。なお、何度も繰り返し作動する場合は、モータ焼損の恐れがありますので、ポンプの点検が必要です。

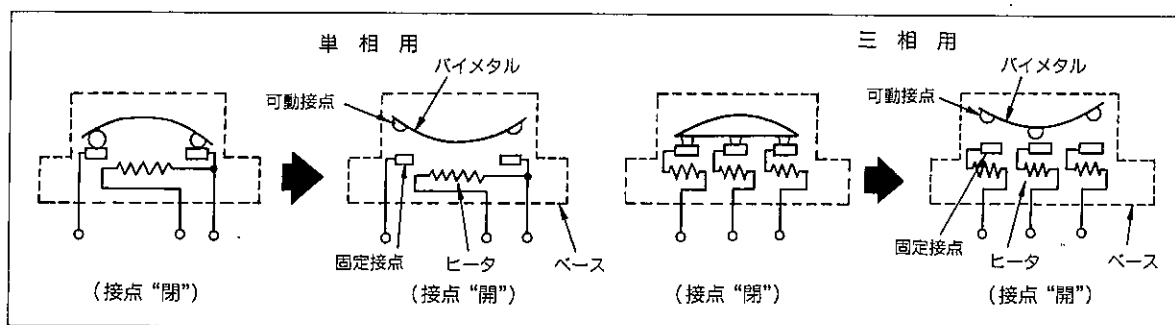


第6図 (a) 単相モータ

第6図 (b) 三相モータ



第7図  
オートカットの外観



第8図 バイメタルの動作

### 〈モータ保護〉

アイムモータプロテクタは、一般に下記4種類のモータ保護を目的として内蔵しています。

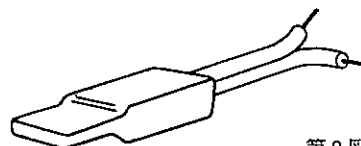
1. ポンプの機械的異状によるモータ拘束の保護。
2. 過負荷運転の保護。
3. 三相回路の欠相による単相運転の保護。

オートカットは動作原理上、事故発生から動作するまでに時間がすこしかかります。つまり動作時限があるので、瞬時に動作することが必要な運転ケーブルの線間短絡保護の目的には、貴方の運転盤側に過電流しゃ断器の取付けをお奨めします。

### ● ミニチュアサーマルプロテクタ (第9図)

バイメタル式の過熱保護用の小形プロテクタで、モータ巻線中に埋め込まれかつ一般に複数個直列に接続して使用されます。その引出し回路は外部の始動盤の操作回路に接続されます。

モータ温度が低下するとバイメタルが元の状態に戻る自動復帰式になっています。当社ではb接点付きのものを使用しています。



第9図  
ミニチュアサーマル  
プロテクタ